

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地場産農産物推進事業			210337	担当課	農林業振興課	
	開始年度	平成14(2002)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	荻野 幹雄		
	歳出費目	款) 農林業費	項) 農業費	目) 農業振興費	決算附属資料	172	頁	
	施策の大綱	農林水産業の振興			関連計画等	-		
	施策名	地産地消を推進する			根拠法令等	学校給食地場野菜導入支援事業実施要領ほか		
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産農産物(福知山産農産物)の生産と需要の拡大を図るため地産地消(福知山産農産物を福知山市内で消費する)を推進する。 ・福知山産農産物の需要拡大を図るため学校給食への福知山産米・野菜の導入を進める。 ・「福知山市地産地消推進計画」を策定し関係機関と連携して地産地消を進める。 						
	対象者	地産地消推進認定店・学校給食センターへの地場野菜導入組織・生産農家、京都府学校給食会	対象者数	7,018	一人当たりコスト	1.30		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 地場野菜生産出荷組合連絡協議会、農業者、京都府学校給食会						
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・福知山市地産地消推進協議会の開催 ・福知山地産地消推進店の認定 ・地場産野菜の学校給食センターへの導入に対し支援を行なう。 ・学校給食の米飯に福知山産コシヒカリ使用し、府内産ブレンド米との差額を京都府学校給食会に負担する。 						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
	報酬	委員報酬			72			
	需用費	地産地消認定店のぼり旗			21			
	負担金補助及び交付金	学校給食地場野菜導入支援			3,782			
	〃	地場産米学校給食活用支援			1,504			
	〃	学校給食導入野菜安定出荷資金造成事業			300			
関連事業								
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	4,650	4,814	5,529	5,412		
		補正予算等・・・②	646	922	0			
		繰越し等・・・③	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	3,846	922	0	0		
		国支出金	0	0	0	0		
		府支出金	1,450	2,407	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他特財	0	2,407	5,529	5,412		
		特定財源名称 (H29実績)	地場産農産物推進事業(みらい戦略)		2,627	府補助金	24	頁
	地域振興基金		2,407	基金繰入	36	頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.6 / 0.5	0.27/0.5	0.27/0.5	/			
	概算人件費・・・④	6,050	3,410	3,410				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		11,346	9,146	8,939				
執行状況	執行額・・・⑥		5,248	5,679				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.1%	99.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		学校給食への地場野菜納入率	%	9.6/15	11/20	/30	30%以上	
		学校給食への福知山産米納入率	%	100/100	100/100	/100	100%	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		学校給食センター地場産野菜導入支援品目	件	24/40	25/40	/40	40	
		単位あたりコスト		218.7	227.2			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地場産農産物の生産と需要の拡大を図るため地産地消を推進することは、農業者だけではなく食育等の教育の観点からも必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	学校給食への地場産農産物の導入を支援することにより市内小中学生へ直接地場産農産物を提供することができるため効率的である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	地場産農産物の納入率が向上しており、地産地消の推進には有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	地場産農産物(福知山市産農産物)の生産と需要の拡大を図るため地産地消(福知山市産農産物を福知山市内で消費する)を推進するため主として、学校給食への地場産農産物の導入を支援しており、その納入率も向上している。	
	今後の課題及び方向性	福知山市地産地消推進計画(H28~H30)の最終年であるため、より一層地産地消を推進するには今後の方向性(手段、方法)について再検討が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産農産物の地産地消推進が、地場産農産物の消費拡大(振興)につながるのか、原点に戻って見直す必要がある。 ・生産需要の拡大策という目標は必要であるが、地場産農産物推進事業ではなく学校給食補助の内容になっている。学校給食は対象が限定的であり広がりを欠くのではないか。 ・地産地消認定店を増やしていくという活動がない。 (判定人意見) ・学校給食だけに補助金を支払うのに疑問を感じた。 ・需用拡大への取組が出来ていない、もっとPRが必要では。 ・子どもには福知山産の美味しいご飯を食べてほしい。 		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</p>	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <p><input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替</p> <p><input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充</p>	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		補助要件(対象農業者要件)を見直し、安心安全な地場産野菜の導入支援とする。		